

2018年5月25日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
山陰総合リース株式会社
京葉プラントエンジニアリング株式会社

小水力発電所向けリース取り組みについて

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）および山陰総合リース株式会社（取締役社長：影山 敬三、以下「山陰総合リース」）は、京葉プラントエンジニアリング株式会社（代表取締役社長：福本 英敏、以下「京葉プラント」）が行う小水力発電事業向けに、発電設備のリースおよび既存施設の改修費用の立替払いの契約を締結しました。契約の対象は水車、発電機、水圧鉄管路など発電設備一式および導水路の改修費です。本施設は2018年2月23日より稼働しており、定格出力は199kWとなります。

小水力発電は、一般河川、農業用水、砂防ダム、上下水道などを使って行われる、出力1,000kW以下の比較的小規模の発電です。天候や気候の影響を受けることが少なく、24時間安定した発電が可能なことから、地産地消型のベース電源としても期待されています。

本件の対象となる発電所は、鳥取県鳥取市用瀬町に所在しており、1960年に大村電化農協の管理・運営により地元の電力源として稼働が始められました。50年超の経過により施設の老朽化が進み、また少子高齢化によりメンテナンスも困難になっていましたが、今般の取り組みにより設備や施設が更新され、安全かつ安定した発電事業が可能となりました。

本件に続き、SMFL、山陰総合リース、京葉プラントの3社は、鳥取県の農業協同組合（5団体）が夫々地元で管理・運営する同様の小水力発電所（8か所）についても、設備の更新および既存施設の改修を順次行う予定であり、各地域における安全かつ安定した発電を支援してまいります。

SMFLは今後も、発電所、ゴミ処理施設および上下水道など、国内の老朽化したインフラ設備の更新需要に対して、リースをはじめとする様々な金融ソリューションを提供することで社会インフラの整備に貢献してまいります。

山陰総合リースは、今後もお客さまに最適な総合金融サービスを提供し、地域経済の発展に積極的に貢献してまいります。

京葉プラントは、小水力発電をはじめとする再生可能エネルギー発電事業を全国各地で推進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

三井住友ファイナンス&リース	広報 I R 推進室	五十嵐	TEL 03-5219-6334
山陰総合リース	業務部	三上	TEL 0852-27-7929
京葉プラントエンジニアリング	エネルギー企画部	小槲	TEL 047-325-3408